

平成 31 年度第 2 回東浦町地域公共交通会議 会議録

会議名	令和元年度第 2 回東浦町地域公共交通会議
開催日時	令和元年 7 月 10 日（水）午前 9 時 30 分から午後 0 時 15 分まで
開催場所	東浦町役場本庁舎 3 階 合同委員会室
出席者・欠席者	別添「令和元年度第 2 回東浦町地域公共交通会議委員名簿」のとおり
議題	(1) 平成 30 年度事業報告及び決算報告について【報告】 (2) 令和元年度「う・ら・ら」ダイヤ改正の進捗状況について【報告】
その他	なし
傍聴者の数	5 人

審 議 内 容

◆防災交通課長

定刻となったため、会議を開催する。

◇会長

今回は議題が 2 つある。皆様の意見、ご協力をお願いする。

◆防災交通課長

本日の出席委員は、委員名簿のとおり、27 名中 27 名で、定足数の過半数以上に達しているため、東浦町地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 2 項により、本会議が成立したこと及び同条第 4 項により、会議は公開とし、本日の傍聴者は 5 名であることを報告する。また、本日の会議の内容については、町のホームページで後日公開することを併せて報告する。

それでは引き続き議事に入らせていただく。

◇会長

次第に従い議事を進める。議題 1 平成 30 年度事業報告及び決算報告について、事務局から説明を求める。

議題 1 平成 30 年度事業報告及び決算報告について【報告】…資料 1

◆事務局 A

資料に沿って説明する。

資料 1-1 の「平成 30 年度東浦町地域公共交通会議事業報告」から説明する。題名にもある東浦町地域公共交通会議は、平成 30 年度に 5 回開催し、「う・ら・ら」の乗降状況、評価及びダイヤ改正等について協議を行った。

まず、見出し 1 「う・ら・ら」ダイヤ改正関係については、「東浦町の「おでかけの足」をみんなで考える会」、「公共交通に関するグループインタビュー」及び「東浦町の公共交通に関する町民アンケート」等で住民のニーズを調査し、公共交通会議の場にて報告した。

見出し 2 「う・ら・ら」タクシーの運行については、「う・ら・ら」を通学用バスとして利用している緒川小学校の児童の乗りこぼし対策・安全対策の補完として平成 29 年 4 月から実施している。なお、本事業は 10 月 1 日のダイヤ改正後、小型車両が本タクシー

の代用となるため、本事業は令和元年9月30日をもって終了する。

見出し3企画乗車券の実施については、う・ら・らの利用促進を目的に、平成30年度より実施している。なお、令和元年度も実施予定である。

見出し4公共交通検索サービスの増強については、平成29年10月から「う・ら・ら」の乗り継ぎ案内や電車への乗り換え案内を可能にする公共交通検索サービスを導入した。平成30年7月からは新たに「駅すばあと」が利用可能となった。

見出し5「う・ら・ら」バスギャラリーについては、町内の保育園や児童館の子ども達が描いた絵をバスに飾り付けた「ハロウィンバス」と「クリスマスバス」を運行した。

見出し6「う・ら・ら」&エコモビ達人教室については、小学校への入学時からバス通学となる緒川保育園、藤江保育園、東ヶ丘幼稚園の年長園児を対象に、「う・ら・ら」の乗り方とともに、バスが地球にやさしい乗り物であることを伝えた。

見出し7路線バスの広報等については、産業まつりにて「う・ら・ら」や知多バスを紹介した。また、「う・ら・ら」に親しんでもらうために、子ども達等を対象に「う・ら・ら」のペーパークラフト体験を実施した。

見出し8有料広告については、平成30年度の広告収入が786,000円であり、平成29年度と比較すると182,939円の減となった。令和元年10月のダイヤ改正から導入される小型車両に広告枠を設け、更なる収入確保に努めていきたい。

続いて、資料1-2の「平成30年度東浦町地域公共交通会議決算書」について説明する。歳入については、東浦町からの負担金が2,783,000円、預金利子が19円となっており、合計で2,783,019円である。歳出については、地域公共交通会議の報償費が430,000円、会議用のお茶代が11,686円、東浦町地域公共会議負担金返還金が150,333円である。

なお、会議で使用しなかったお金は全て町に返還することになっている。また、決算関連資料については、監査委員が確認していることも併せて報告する。

◇会長

決算の内容について、監査委員から報告を求める。

◆委員A

5月29日に藤江コミュニティセンターにて、監査委員である成田盛雄及び田島由美子で、決算書類等を監査した。内容としては適正に処理されていることを報告する。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◇会長

意見がなければ、次の議題に移らさせていただく。

◆全委員

異議なし。

議題2 令和元年度「う・ら・ら」ダイヤ改正の進捗状況について【報告】

…資料2、3、4、5

◆事務局A

資料に沿って説明をする。

資料2のダイヤ改正の進捗状況と今後のスケジュールについて説明する。資料上から運行委託、路線図・時刻表の作成、停留所標識の作成、停留所標識の作成、車内外のアナウ

ンス・電光掲示板の作成、バスロケーションシステム等の変更、広報活動について、今年度実施するスケジュールをまとめている。公共交通会議でも報告させていただいている路線図・時刻表については、広報ひがしうら9月1日号に挟み込み、全戸配布する予定となっている。また、広報活動については、6月から「う・ら・ら」車内にポスターを掲示しているほか、町ホームページで専用ページを公開している。また、定期券については3か月後まで購入できることから、ダイヤ改正後の路線と時刻表を販売所に掲示し、購入者に対しての周知活動を実施した。今後もツイッターやフェイスブックといったSNSを利用して、ダイヤ改正後の利用促進に努める。

また、バスロケーションシステム等の変更について、10月1日のダイヤ改正に間に合うようシステムの変更を行っている。

資料3-1のダイヤ改正後の路線図について説明する。路線図はA1サイズとなっており、資料3-2の時刻表と両面刷りで配布する予定である。

路線図の協議事項については、資料3-3の路線図・時刻表の協議事項とともに確認していく。まず、見出し1の路線名について確認していきたい。緒川駅からふじが丘までを結ぶピンク色と黄緑色の路線をそれぞれ「東浦高校線（於大公園南経由）」と「東浦高校線（文化センター経由）」とした。こちらについてより適当な路線名があれば協議していきたい。なお、その他の路線名の候補としては、資料3-2の左上の凡例に記載のあるとおりである。

次に資料3-3の見出し2停留所名についての協議事項について説明する。施設等の固有名詞を使用している停留所名については、原則、その施設の「正式名称」をつけるよう変更した。これは、ジョルダン等の公共交通検索サービスを利用する際に、サジェスト欄に表示される候補を減らし、正確な検索をより簡単に可能とするためである。なお、変更を予定している停留所名は、資料3-3の「停留所名変更前後の早見表」のとおりである。この変更について協議していきたい。

資料3-3の見出し3路線図上に掲載される情報についての協議事項について説明する。現在、路線図上には「交差点名」をはじめ、役場や保育園等の「公共施設」、「病院及び診療所」、「ショッピングセンター」、「銀行」のほか、他市町のバスや民間バスの路線図を掲載している。これらの掲載する情報に過不足があるかを協議していきたい。

資料3-2のダイヤ改正後の時刻表については、資料3-3の路線図・時刻表の協議事項とともに確認していく。資料3-2の白紙のスペースにはタイトル等が入り、表紙となる。また、その下のご利用案内には、運賃や運行日、お願い、忘れ物の問い合わせ等の情報を掲載する。お願いの④では、小型車両が車椅子非対応車であることを赤字で強調している。ここでは、時刻表の案内に掲載すべき情報に過不足がないかを協議していきたい。

次に、資料3-2の右上のページに掲載している時刻表の見方では、号車と便名の関係など簡単な説明をしている。この案内に過不足がないかを協議していきたい。

時刻表は資料3-2の左下のページに長寿左回りコース、右ページに長寿右回りコース、その上に刈谷コースを掲載している。なお、長寿左回りコースと長寿右回りコースでは、同一の停留所を横方向に揃えるため、長寿左回りコースのダイヤの進行方向を上下反転させた。これにより、横方向に視点を動かすだけで行き・帰りの時刻を簡単に確認できる。このような掲載方式が適当であるかを協議していきたい。

また、同一のバスが路線を変更して運行する際には案内文を記載している。例えば、長寿右回りコースの小型2号車2便の時刻表には、緒川駅東口（着）9:00のセルの下に「こ

の先は刈谷コース 小型2号車2便 刈谷線（刈谷駅南口行）を参照」といった案内文を記載している。このように各コース内に記載されている案内文について、情報が過不足していないかを協議していきたい。

資料4のダイヤ改正後の時刻表の別案について説明する。これは資料3-2の時刻表の長寿左回りコースと長寿右回りコース部分の別案である。大きな変更点としては、環状線（東ヶ丘先回り）と東浦高校線（於大公園南経由）・東浦高校線（文化センター経由）の緒川駅東口行を組み合わせたセットと、環状線（県営東浦住宅先回り）と東浦高校線（於大公園南経由）・東浦高校線（文化センター経由）のふじが丘行を組み合わせたセットで掲載している点である。これらの路線を組み合わせることで、各路線の時刻表を複数見なくても発着の時刻を確認できる利点がある。また、各路線の乗り換えは緒川駅東口で行うため、緒川駅東口の発着時刻を時刻表の上下で揃えることで、乗り換え時刻の確認が容易になった利点がある。ここでは、資料3-2の時刻表と資料4の時刻表どちらが利用者目線で見やすいかを協議していきたい。

資料5-1の停留所標識のデザイン案について説明する。標識の円盤部分は現在のデザインと同様の卵の花を用いたもの、マスコットキャラクターのおだいちゃんを用いたもの、バスのピクトグラムと英語表記を持ちものがある。なお、全国的にみるとピクトグラムと英語表記を用いたデザインが多い。これは外国籍の方や引っ越してきたばかりの方が一目でバスの停留所と判断できるためである。ここでは、停留所のデザインについて協議していきたい。

資料5-2の停留所標識に掲載する時刻表のデザイン案について説明する。このデザイン案は、緒川駅東口の停留所標識に掲載する時刻表である。上部には全路線と全停留所を掲載し、下部には各路線の発時刻を掲載している。上部に路線図を掲載することで、利用者が目的地に行くために使用する路線が容易に判断できるようにしている。なお、現在地の停留所のみを黄色の背景色を付けて強調する予定である。ここでは、すべての停留所を掲載した路線図を掲載するか、概略路線図を掲載するかを協議していきたい。

◇会長

説明を受け、まずは路線名について委員の意見を聴取する。

◆委員A

東浦高校線については、以前、ふじが丘線という名前が案に挙がっていた。ふじが丘の所在地に関する認知度が低いことから東浦高校線といった名前に変更されたのだろうが、東浦高校の所在地も町民の方が認識しているかが不安である。また、路線名の統一性を求めるならば、緒川・藤江線など地名で統一した方が良いのではないかと考える。

◆事務局A

事務局としても始発と終着の地域の名前を付けるといった案は出されたが、環状線の場合は緒川駅と緒川駅を結ぶ路線であるため、この規則での命名が困難である。ただし、この場で良い案などが出たら、変更していきたいと考えている。

◇副会長

ふじが丘と東浦高校のどちらが分かりやすいかは人それぞれのため難しい。緒川駅・藤江線の場合、本路線は藤江の全停留所を通らないため、誤解を与えることになる。緒川駅・東浦駅線といった案も考えたが、東浦高校やふじが丘といった山の方を通るイメージをなすため、東浦高校線とした。

◆委員B

森岡に住むものとしては、ふじが丘より東浦高校を路線名に使用した方が分かりやすい。

◆委員C

東浦高校線というと東浦高校の生徒が主に使うようなイメージを受ける。時刻表を見ると登校には利用できそうだが、部活をする生徒は帰りが遅いので下校には使えないだろう。東浦駅までは歩ける距離であるので問題はないと思うが引っかかる部分はある。

◆委員D

東浦高校線は山の方を運行するイメージがあるので、国道沿いに運行しない本路線の特徴を掴んでいるように思える。

◇副会長

先ほど話に出てきたように高校線というと該当の生徒が使用するイメージを与えるが、山の方を運行する路線であることを伝えるためには路線名を東浦高校線とするのが適当であると考えた。

◆委員E

環状線の路線名については、どこどこ先回りといった案内が付いているが乗車する場所によっては案内で示した停留所を通らないため、相応しくないのではないかと。ただ、左回り・右回りといった案内の方が良いのではないかと。

◆事務局A

事務局としては、始発の緒川駅を中心に先回りといった表示で考えていたが、利用者目線ではなかった。左回り・右回りといった案内で検討していきたい。

◆委員E

同様に環状線の前に付いているL・Rの表記も左回り・右回りのことだと分かる方が少ないのではないかと。特に高齢者の方は感覚的に掴みにくのではないかと。

◇副会長

左回り・右回りか先回りといった表現のどちらが分かりやすいかは人それぞれであるが、左回り・右回りといった表現は名古屋特有のもので、全国的には先回りといった表現が多い。東浦町の利用者が分かりやすいものを選んでいきたい。また、L・Rといった英語表記については、大正時代から義務教育で習っているものであるため問題ないのではないかと。

◇会長

意見等も出ないため、路線名については、環状線（左回り）、環状線（右回り）、東浦高校線（於大公園南経由）、東浦高校線（文化センター経由）で実施することに承認いただいたという理解でよろしいか。その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

◇会長

次に停留所名について委員の意見を聴取する。

◆委員A

東ヶ丘の「ヶ」については、正式名称が「ヶ」であるが、地域の利用者は「ヶ」で馴染んでいるため、「ヶ」を使用していただきたい。

◇副会長

公共交通検索サービスにおいては、どちらを使用しても検索できるため、「ヶ」にしても問題はない。なお、検索数においても「ヶ」が多く使われている。

◆委員B

県営住宅はどの地域にもあるが、県営東浦住宅は一つしかない。固有名詞を覚えてもらうためにも、停留所名を正式名称に近づけることには賛成である。

◇会長

意見等も出ないため、停留所名については、東ヶ丘を除き、停留所名を正式名称に近づけることに承認いただいたという理解でよろしいか。その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

◇会長

次に路線図上に掲載する情報について委員の意見を聴取する。

◆委員A

よしだ眼科、まつおか整形外科、於大クリニックが移転しているので、移転先に変更するべきである。

◆事務局A

移転先の住所に修正する。

◆委員B

柳原医院は廃業しているので路線図上から削除するべきである。

◆事務局A

路線図上から削除する。

◆委員C

藤江公民館の上に神社の地図記号が2つ入っているが1つに修正していただきたい。また、この神社の地図記号は、愛知県無形民俗文化財のだんつく獅子舞を行っている藤江神社であるため、周知のためにも名前を入れていただきたい。

◆事務局A

地図記号を1点削除するとともに、藤江神社の名入れを行う。

◆委員D

刈谷駅周辺図の名鉄刈谷線を名鉄三河線に変更していただきたい。

◆事務局A

名鉄三河線に修正する。

◇会長

意見等も出ないため、修正するべき点は修正するものとし、路線図上に掲載する情報については、承認いただいたという理解でよろしいか。その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

◇会長

次に時刻表に掲載する情報について委員の意見を聴取する。

◆事務局B

時刻表の表示案を資料 3-2 と資料 4 の 2 案作成したが、どちらがより分かりやすいかを協議していきたい。資料 3-2 は停留所で横に読むことができるが、下から上に読むことが分かりづらいという方もいると思い、資料 4 を作成した。

◆委員 A

事前資料の資料 3-2 を地域の方に見せた際には、下から上に読む時刻表は読みにくいと不評であった。別案の資料 4 の方が見やすく感じる。また、時刻表の各路線に記載された案内文については「どこどこ参照」ではなく、通過する主だった停留所名を記載すると分かりやすいのではないか。

◆委員 B

事前資料の資料 3-2 を初めて見たときは戸惑ったが、意図を理解すると読みやすく感じた。初めて見る方が分かりやすいように背景にある矢印をもう少し強調すると良いのではないか。

◇副会長

環状線（東ヶ丘先回り）を上から下、環状線（県営東浦住宅先回り）を下から上にした方が良い。また、単純に見ていくのであれば、上から下に読む時刻表の方が分かりやすいが、自分の乗りたい停留所を横に読んでいけないので、この仕組みさえ理解すれば上下反転した時刻表の方が分かりやすい。

◆事務局 B

時刻表を上下反転させる場合に一点注意することがある。それは、環状線（東ヶ丘先回り）と環状線（県営東浦住宅先回り）の両路線とも東ヶ丘団地の順路が同じであるため、東ヶ丘団地の区間のみ停留所を左右で揃えられない点である。

◇副会長

環状線の両回りとも緒川駅から役場の区間は存在するため、表示を一つにまとめた時刻表を掲載すると良いのではないか。また、資料 4 では、長寿線と刈谷線を緒川駅行と病院行で上下に掲載しているが、路線ごとにまとめて掲載した方が良いのではないか。

◆事務局 A

掲載スペースの関係上、緒川駅と東浦町役場の区間は環状線の両回りと東浦高校線の両経路で共通するため、まとめて掲載することは困難である。

◆事務局 B

長寿線と刈谷線の掲載方法については、事務局としても迷いがあるが。上下に掲載したのは緒川駅を結節点と考え、上から下に乗り継ぎを考慮した方が分かりやすいと考えたためである。

◇副会長

環状線は 2 路線あるので、その考え方では片方しか分かりやすいとは言えない。長寿線と刈谷線は路線ごとにまとめて掲載した方が良い。上下反転が分かりやすいかどうかを協議していきたい。また、資料 3-2 では、長寿左回りコースや刈谷コースといったまとめ方がされているが、資料 4 のように路線ごとに時刻表をまとめて掲載した方がよい。号車の表示については、小型車両は小型 1 号車・小型 2 号車ではなく、小型 11 号車・小型 12 号車といった表示にした方がよい。

◆事務局 B

長寿線と刈谷線の掲載方法については、事務局としても迷いがあるが。上下に掲載した

のは緒川駅を結節点と考え、上から下に乗り継ぎを考慮した方が分かりやすいと考えたためである。

◆委員 C

慣れていないということもあるが、下から上に読む時刻表には抵抗がある。

◆事務局 B

東ヶ丘団地とふじが丘団地の区間は、環状線の両回り、東浦高校線の両経由とも同じ順路で運行している。そのため、環状線と東浦高校線の停留所を左右で揃える場合には、上下反転させた環状線（右回り）・東浦高校線の中で、東ヶ丘団地とふじが丘団地の両区間のみ上から下に配置することになる。上下反転させた場合に停留所を左右で揃えることを優先し、読む方向が混在する時刻表とするか、東ヶ丘団地とふじが丘団地の両区間のみ左右で揃えることをやめるか、どのような方針とするかを協議したい。

◇副会長

連絡所長や利用者代表など有志の方に一度レイアウトし直したのを見てもらい、判断するのが良いのではないか。

◆事務局 B

それでは、連絡所長をはじめ有志の方が参加する話し合いの場を設け、事務局一任で進めてよろしいか。

◇会長

意見等も出ないため、話し合いの場を設け、事務局一任で進めることについては、承認いただいたという理解でよろしいか。その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

◇会長

次に停留所標識のデザイン案について委員の意見を聴取する。

◆委員 A

運転免許の自主返納をした知り合いが最近バスに乗車するようになったが、自分が目的地に行くためにどの路線に乗車してよいか分からず、近くの人に聞いて乗車している。そのため、停留所標識の路線については、事細かく標記した方が良いのではないか。

◆事務局 A

停留所標識に掲載する時刻表は、スペースが限られているため、最低限度の情報しか載せられない。各地区のサロンなどでダイヤ改正に関する説明会を実施し、そういったハードの問題を補完していきたい。

◆委員 B

円盤部分はマスコットキャラクターのおだいちゃんがデザインされているものが、親しみが持ちやすくよいのではないか。

◆委員 C

東浦町役場や東浦駅に配置しているバスロケーションシステムの外箱のデザインは変わるのか。変わらないのであればバスロケーションシステムの外箱には、ピクトグラムを用いたデザインが使用されているので、統一を図るためにもピクトグラムを用いたデザインで良いのではないか。

◆事務局 A

バスロケーションシステムの外箱のデザインは変更しない。ただし、システム内部はダイヤ改正に合わせて変更を実施する。

◆委員 D

円盤部分はピクトグラムと英語をデザインしたものが良いのではないか。バスロケーションシステムのディスプレイが小さく見づらいので、更新とともにディスプレイを大きくしていただきたい。

◆事務局 B

バスロケーションの更新は、システムの更新のみのため、ディスプレイのサイズを大きくすることはできない。

◇副会長

コミュニティバスで地域の個性を出すのはよく見受けられるが、そういったものはバスのラッピング等で出すべきで、停留所標識は万人に伝わるユニバーサルデザインを重視するべきと考えている。また、ピクトグラムを使用する場合は、JIS 規格に準じたものを使用するべきである。

◇会長

意見等も出ないため、停留所標識についてはピクトグラムと英語表記を用いたデザインを使用することに、承認いただいたという理解でよろしいか。その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

◇会長

次に停留所標識に掲載する時刻表のデザイン案について委員の意見を聴取する。

◆事務局 B

掲載する路線図について全停留所を掲載するべきか、主だった停留所のみ概略路線図とするかを、どちらで掲載するべきかを協議していきたい。

◇副会長

現在の路線図では、情報量が多だけでなく、東西南北が分からない。資料 3-1 の路線図にあるような概略路線図を使用するのが良いのではないか。

◇会長

意見等も出ないため、東西南北の分かる概略路線図を使用することに、承認いただいたという理解でよろしいか。その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

その他

◇会長

その他で何かあるか。

◆防災交通課長

次回の会議日程については、12月上旬を予定している。また、詳細については近くなったら連絡させていただく。

◇会長

本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、閉会を宣告する。